

[標準様式例 7-3]

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	H31 レーダ雨量計データ処理システム（次世代）検討業務
業 務 概 要	本業務は、国土交通省が管理する防災情報システムであるレーダ雨量計データ処理システムについて、障害発生や運用停止の減少、コスト縮減の観点から次世代のシステムの集約化を検討するものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 石原 康弘 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和元年7月4日
契 約 業 者 名	(一社)建設電気技術協会
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区赤坂一丁目3番6号
契 約 金 額	¥29,920,000円(税込み)
予 定 価 格	¥29,997,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務体制、特定テーマなどを含めた技術提案を求め、簡易公募型プロポーザル方式に準じた方式により選定を行った。 (一社)建設電気技術協会は、技術提案書をふまえ当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 関東地方整備局
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 ( 自 )	令和元年7月5日
履 行 期 間 ( 至 )	令和2年2月28日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。